

膵癌に対する腹腔動脈合併切除を伴う膵体尾部切除術前の、 術後肝動脈血流評価を目的としたバルーン閉塞試験の有効性に関する 後方視的検討

1. 研究の対象

2011 年 1 月から 2025 年 12 月までに当院で膵癌に対する腹腔動脈合併切除を伴う膵体尾部切除術（Distal pancreatectomy with celiac axis resection(DP-CAR)）の前に血管造影検査（バルーン閉塞試験）を受けられた方。

2. 研究目的・方法

研究目的：膵癌に対する腹腔動脈合併切除を伴う膵体尾部切除術（DP-CAR）前の、血管造影検査（バルーン閉塞試験）の有効性及び安全性を明らかにすることです。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析を行います。

研究期間：研究許可日から 2029 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、画像所見、治療内容、合併症等の発生状況、 等

4. 外部への試料・情報の提供

他の機関への情報提供はありません。

5. 研究組織・研究責任者

研究責任者

国立がん研究センター中央病院 放射線診断科

木村慎太郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報を守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院 放射線診断科 木村慎太郎

TEL 03-3542-2511

研究機関の長

国立がん研究センター 理事長 間野 博行

当センターの研究責任者：

国立がん研究センター中央病院 放射線診断科 木村 慎太郎